

4年生社会科見学「水はどこから」

4年生は、6月25日（木）に社会科見学に行ってきました。社会科「水はどこから」の学習として、母島支所の大塚さんの案内の下、乳房ダム・浄水場・中継ポンプ所・し尿処理場の4か所を巡りました。

乳房ダムでは、貯水量や水深、生息している生き物の話を伺いました。乳房ダムは、海が見えるダムとして、とても珍しいという話を聞くと、誇らしそうに笑う姿が見られました。また、水質改善を目的とした空芯菜の育成の話は、乳房ダムならではの内容で、子供たちも暑さを忘れてメモをしていました。



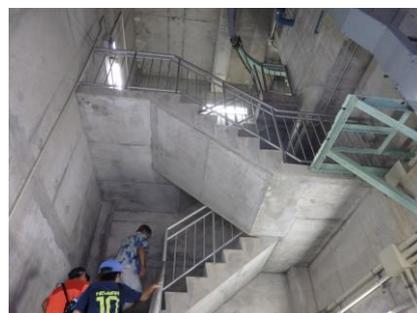
(乳房ダムで話を聞く様子)



(浄水場の薬品検査の様子)

浄水場では、ダムから流れてきた水がどのようにして家庭や学校などに届けられているのかを学びました。教科書や映像教材で学んだことを、実際に見ることで、更に理解を深めることができました。薬品の量を変えることで、水中の汚れの固まり方の違いを観察する実験や、ダムの貯水量を管理するシステムの見学など、貴重な体験ができました。

中継ポンプ所では、家庭やお店から出た排水を、どのようにして下水処理場まで送っているのか学びました。独特の臭いや、地下3階という深さに驚く様子が多く見られました。なかなかインターネットや資料には載っていない中継ポンプ所の様子を目の当たりにすることができ、良い学習となりました。



(中継ポンプ所の地下3階から)



(微生物を探している様子)

し尿処理場では、流れてきた下水の処理の仕方を学びました。下水をきれいにして海に排水する過程には、実は微生物が活躍していることを知り、子供たちも驚いていました。下水の汚泥を顕微鏡で見ると、いろいろな微生物が動いており、子供たちが夢中になって探している様子が見られました。

社会科見学で学んだ内容は、学校で新聞としてまとめました。記事の内容がスラスラと思いきわぬ様子を見て、改めて専門知識のある方との体験授業の大切さを感じました。